



学び  
合い

認め  
合い

輝き  
合い

< 研究主題 >

「自他のよさを尊重し合い，自ら考え，  
正しく判断し，実践できる生徒の育成」  
～ どう考え，どう動く ～

< 全体重点内容項目 >

◎ A1 自主，自律，自由と責任

< 学年重点内容項目 >

○ 1学年：A2 節度，節制

○ 2学年：C15 よりよい学校生活，集団生活の充実

○ 3学年：A3 向上心，個性の伸長

令和3年11月10日（水）

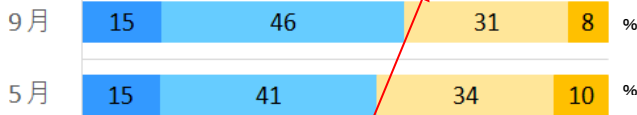
穴水町立穴水中学校

# 検証

## 道徳質問紙調査結果(2021年5月・9月調査)

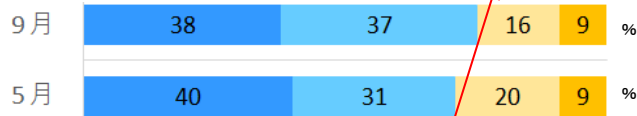
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない

### (1) 道徳の時間が好きだ



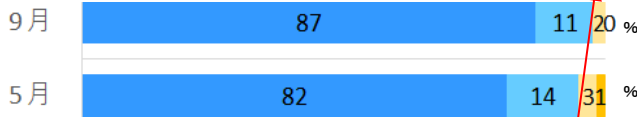
### (2) 将来の夢や目標を持っている

〔重点項目：A3 向上心、個性の伸長〕



### (3) いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う

〔重点項目：A1 自主、自立、自由と責任〕



### (4) 人の役に立つ人間になりたいと思う

〔重点項目：A3 向上心、個性の伸長〕



## 成果と課題

## 生徒の振り返りより

### 道徳ノートから

私はこのお話を読んで、自分の生活にもあてはまる場所があると感じました。私はまだもちろん一人暮らしなどはしていませんが、よく夜に家の中のとやがたりがあるときに、「誰か食べている」ときの行儀が、「誰か食べているから」「誰か注意しない口をくわわがら」という自分の甘えから来ることがしつこくある。このお話を作者は、「自分で何かを直せない」というが共感できるなと思います。今は、今まだ出来ない人間としてあてはまること、あと社会に出ても出来ないままに終わってしまうと思うので、監視する目がなくてもあてはまることばあてはまるようにあります。

### シトラスリボン作りから

シトラスリボンプロジェクトを行って商工会女性部の方々からこのプロジェクトの意味を教えてください。執行部が中心となって中学校全体で活動できたので良かったと思います。また、シトラスリボンを公共の場に届けたことでもコロナの差別のことでも多くの方々に知ってもらえたと思われ、これからも差別のない世の中になってほしいとこのプロジェクトを通じ改めて思いました。

## 成果

- ICTの利用は、生徒の学習への関心を高めるとともに、中心発問や問い返しに対して考えたり、意見交流を行ったりする時間の確保に大変効果的であった。
- 中心発問を吟味することや、生徒から出てきた意見を生かしながら問い返しを行うことにより、自分のこととして考えるようになり、気づきや経験知からの振り返りができるようになった。
- 行事の振り返りの掲示物を掲示することで、取組のねらいとする内容への価値づけをより深めることができた。
- 地域や社会の課題に対して、生徒自身が何ができるかを考え、行動に移すことにつなげることができた。

## 課題

- ・グループの話合い活動がより活発になるような指導の工夫を行うこと。
- ・生徒がより深く考えたいくなるような発問づくりを行うこと。また、生徒から出た意見に臨機応変に問い返しを考えて自己内対話を深めさせること。
- ・質問紙調査では少し向上が見られたが、より一層、教育活動全体で調和的、意図的に補充・深化・統合を行い、道徳性の諸様相の育成を進めていく必要があること。
- ・すべての生徒が、学校や家庭、地域社会をよくするために何をすべきか考えをもつための手立てとして、情報提供や教材発掘を行うこと。

